

車両乗入れ口部の舗装構成及び設置幅

車道乗入れ口部は、「堺市車両乗入れ工事承認基準」に基づき整備すること。 表1-2

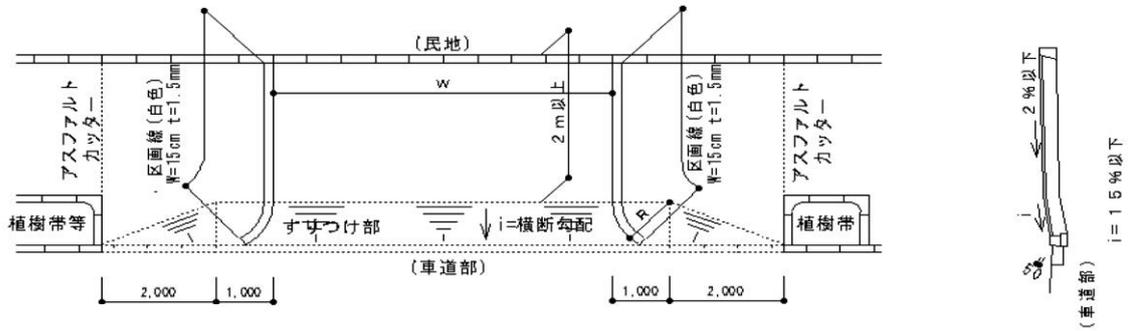
種別	区分 設置幅	アスファルト舗装				インターロッキングブロック舗装				
		再生 密粒度 アス コン	再生 粗粒度 アス コン	路盤		インターロ ッキング ブロック	再生砂 (RC-10)	再生 粗粒度 アス コン	路盤	
				再生 粒調 碎石 (RM-25)	再生クラッ シャーラン (RC-30)				再生 粒調 碎石 (RM-25)	再生クラッ シャーラン (RC-30)
I種	乗用車等	5cm	—	10cm	15cm	8cm	3cm	5cm	10cm	10cm
	4.0m以下									
II種	車両総重量5t未満	5cm	5cm	10cm	15cm	8cm	3cm	5cm	10cm	15cm
	6.0m以下									
III種	車両総重量5t以上	5cm	5+5cm	15cm	15cm	8cm	3cm	5+5cm	15cm	15cm
	6.0m以下									

- 注)
1. 舗装厚は出入する車種の最大のものを適用する。
 2. 特殊舗装については、別途指示に従うものとする。
 3. 上層路盤材に使用する再生粒度調整碎石(RM-25)は、修正CBR90以上のものとする。
 4. 下層路盤材に使用する再生クラッシャーラン(RC-30)は修正CBR30以上のものとする。
 5. 乗入れ口の設置幅については、大型車輛の出入が予想される箇所で、上記の基準により難しいときは軌跡図等により、必要最小限の幅をとることができる。
 6. 表層に使用する再生密粒度アスコンの最大粒径は接する道路で使用している粒径と同様のものとする。ただし、接する道路で使用している粒径が適当でない場合は別途協議を行うものとする。
 7. 再生材に関しては、状況により新材の使用も可能とする。

図1-7-1

標準図1 乗り入れ口の形状

歩道幅員3m以上（植樹帯等がある）のマウンドアップ形式の場合

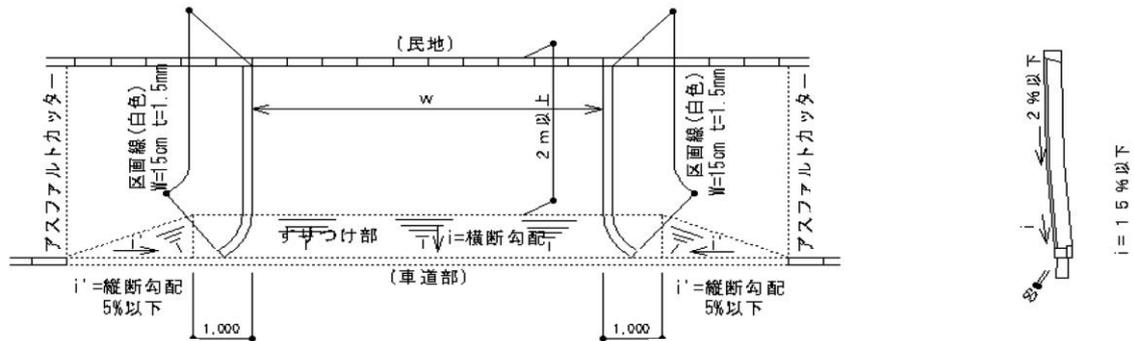


- 注) 1. 歩道巻き込み部の半径(R)=1.0mを標準とするが、車輛出入口部を利用する車種が大型車輛の場合は、その車輛の軌跡によりRを決めるものとする。ただし、植樹帯等の幅員内ですりつけるものとする。
2. すりつけ部の横断勾配が1.5%を超える場合は、民地の協力を求めるものとする。

図1-7-2

標準図2 乗り入れ口の形状

歩道幅員2m以上（植樹帯等がない）のマウンドアップ形式の場合

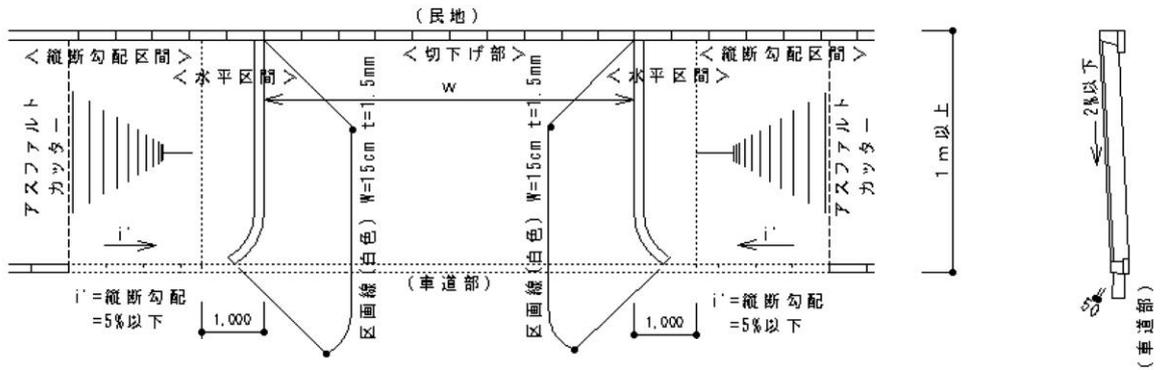


- 注) 1. 歩道の平坦部分の幅員は、2m以上確保すること。ただし、構造上やむをえない場合は1m以上確保するものとする。
2. すりつけ部の横断勾配は、1.5%以下とするが、民地の協力を求めるなどすりつける延長を極力短くするものとする。

標準図3 乗り入れ口の形状

歩道幅員2m未満（狭幅員歩道）のマウンドアップ形式の場合

○ 標準図1, 2の構造によるすりつけができない場合

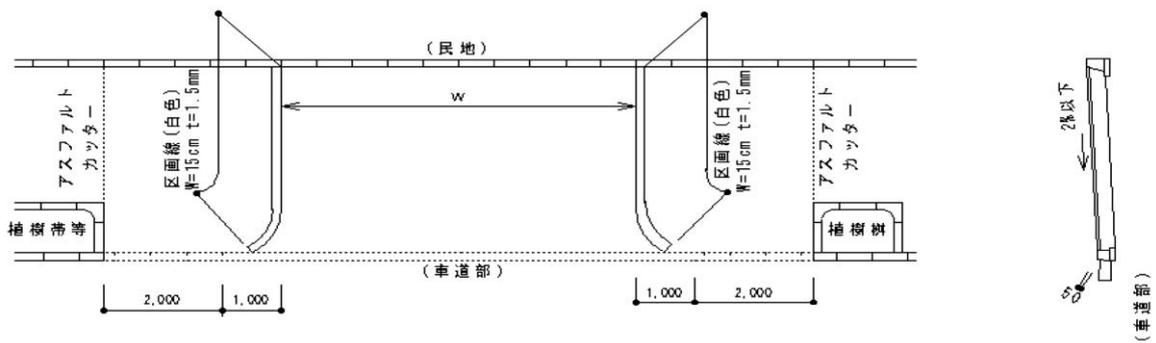


注) 1. 縦断すりつけ部の勾配は、沿道状況などを勘案してやむをえない場合には、8%以下とする。また、縦断すりつけ部には横断勾配を設けないこと。

標準図4 乗り入れ口の形状

セミフラット形式の場合

○ 植樹帯等がない場合も同じ形状とする



(補足事項)

○ 車両乗り入れ防止のバリカーの設置等については、歩道幅等の状況に応じて、協議とする。

図1-9-1~3

構造図

図1-9-1

歩車道境界工 A (I種アスファルト舗装用)

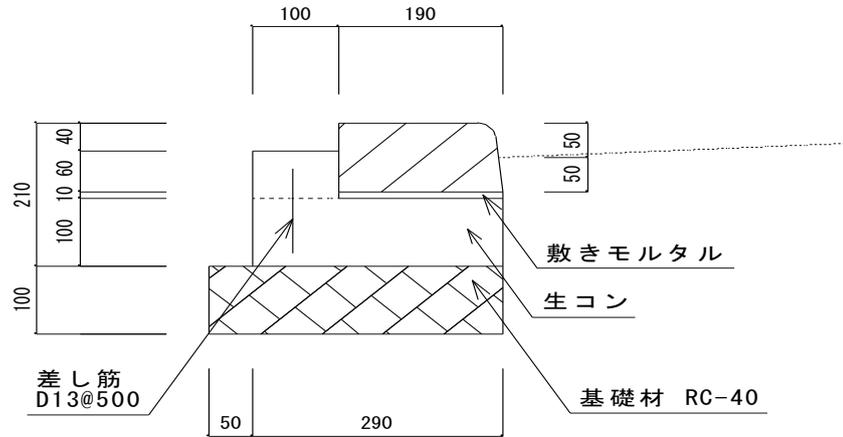


図1-9-2

歩車道境界工 B (II種アスファルト舗装用)

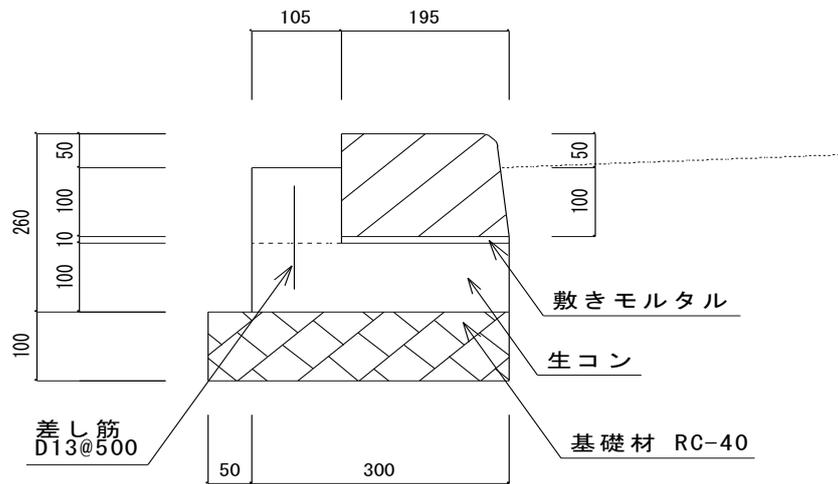
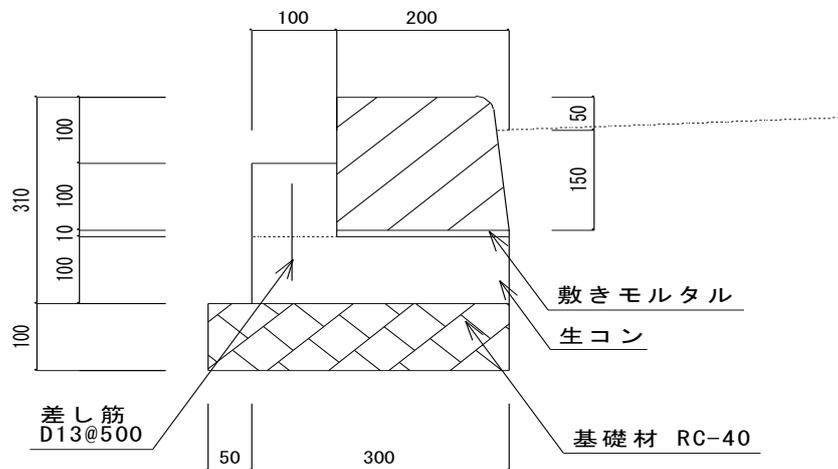


図1-9-3

歩車道境界工 C (III種アスファルト舗装及びI、II種インターロッキング舗装用)



歩車道境界工 (歩行者横断部)
 ブロック (180/190×100×600)

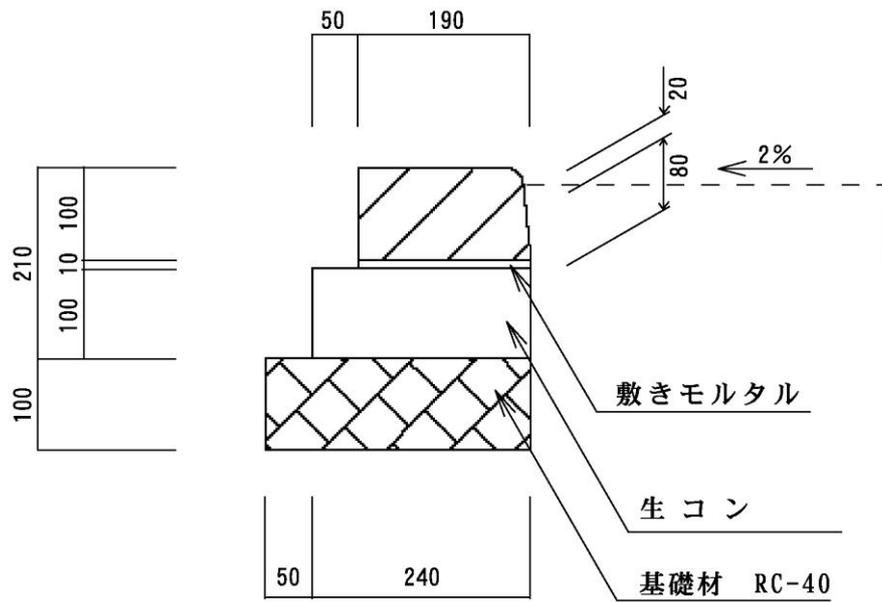
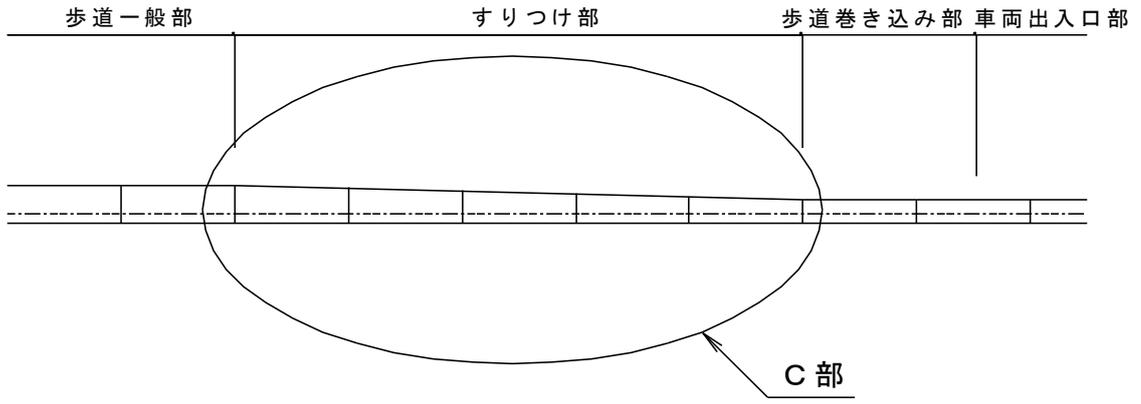
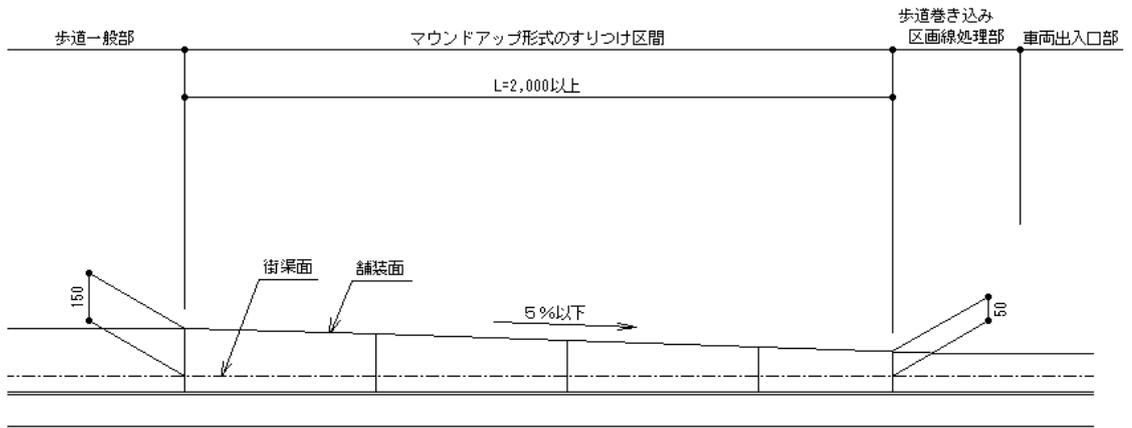


図1-10-1

歩道すりつけ部の構造

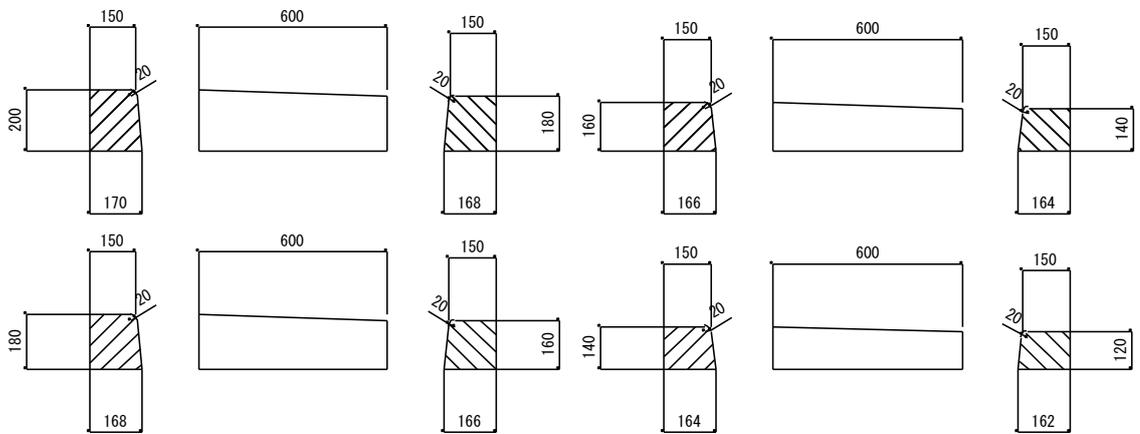


歩道面の高さが15cmの場合
C部詳細図



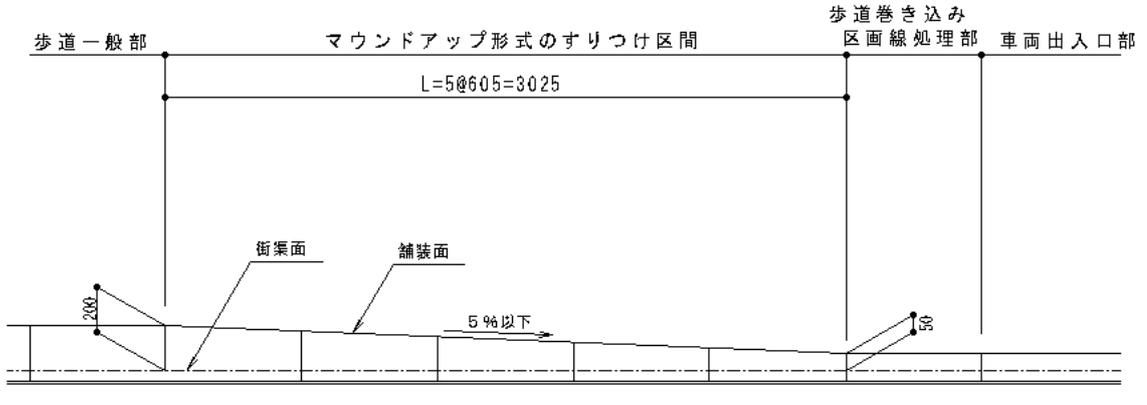
注) 1. 基礎は差し筋及び補強コンクリートを行うものとする。

歩車道境界ブロック詳細図



歩道面の高さが 20 cm の場合

C 部詳細図



注) 1. 基礎は差し筋及び補強コンクリートを行うものとする。

歩車道境界ブロック詳細図

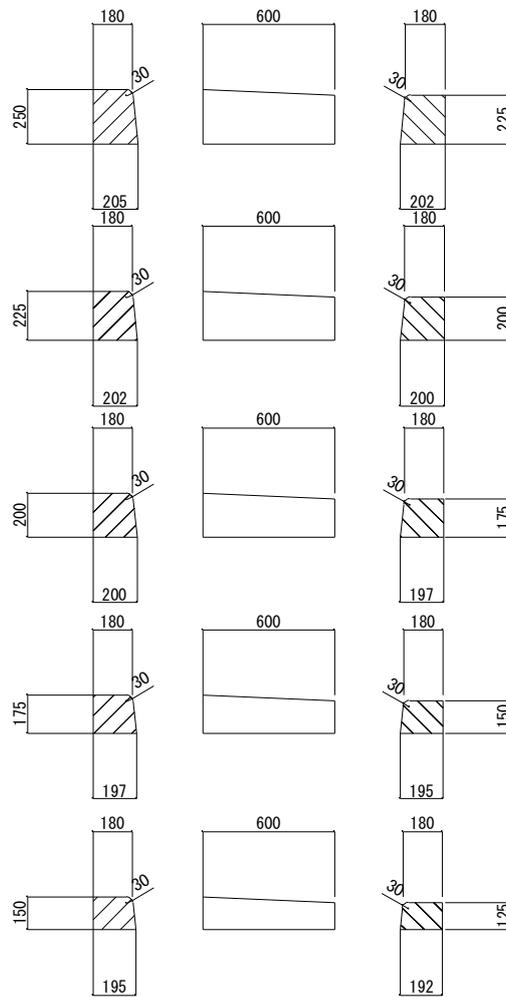


図1-10-3

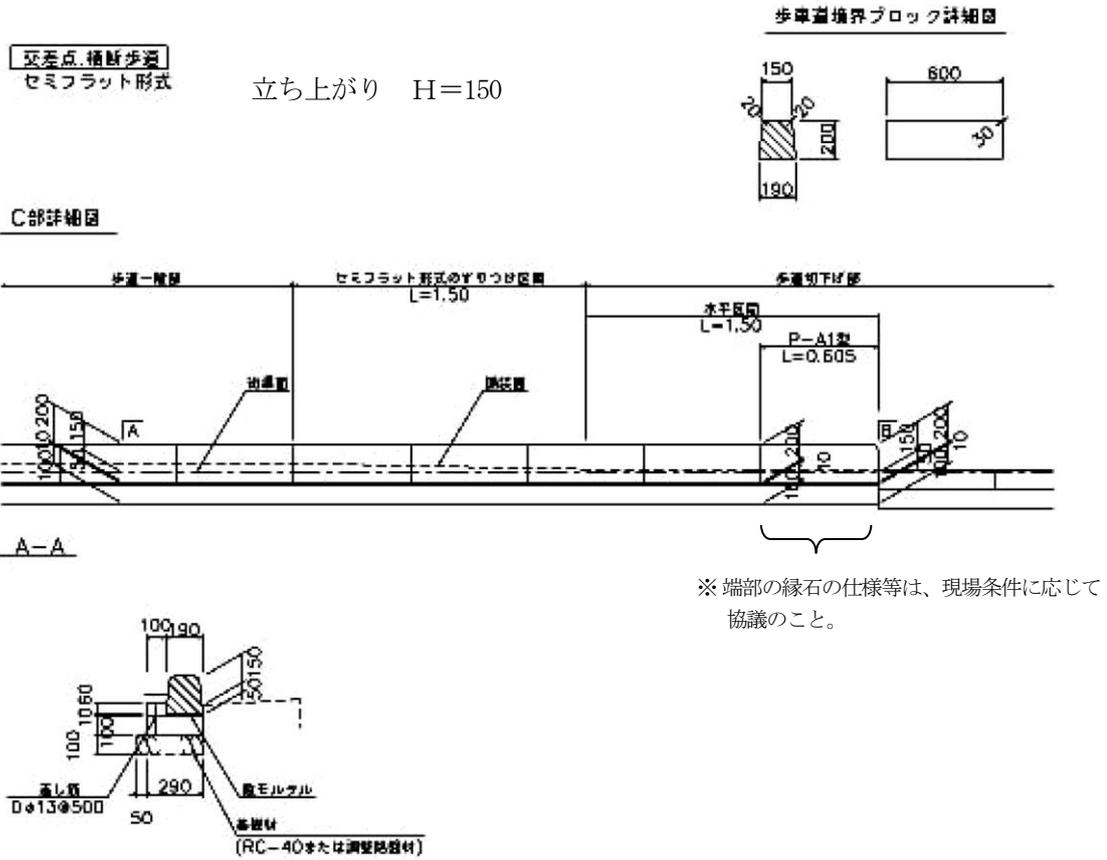
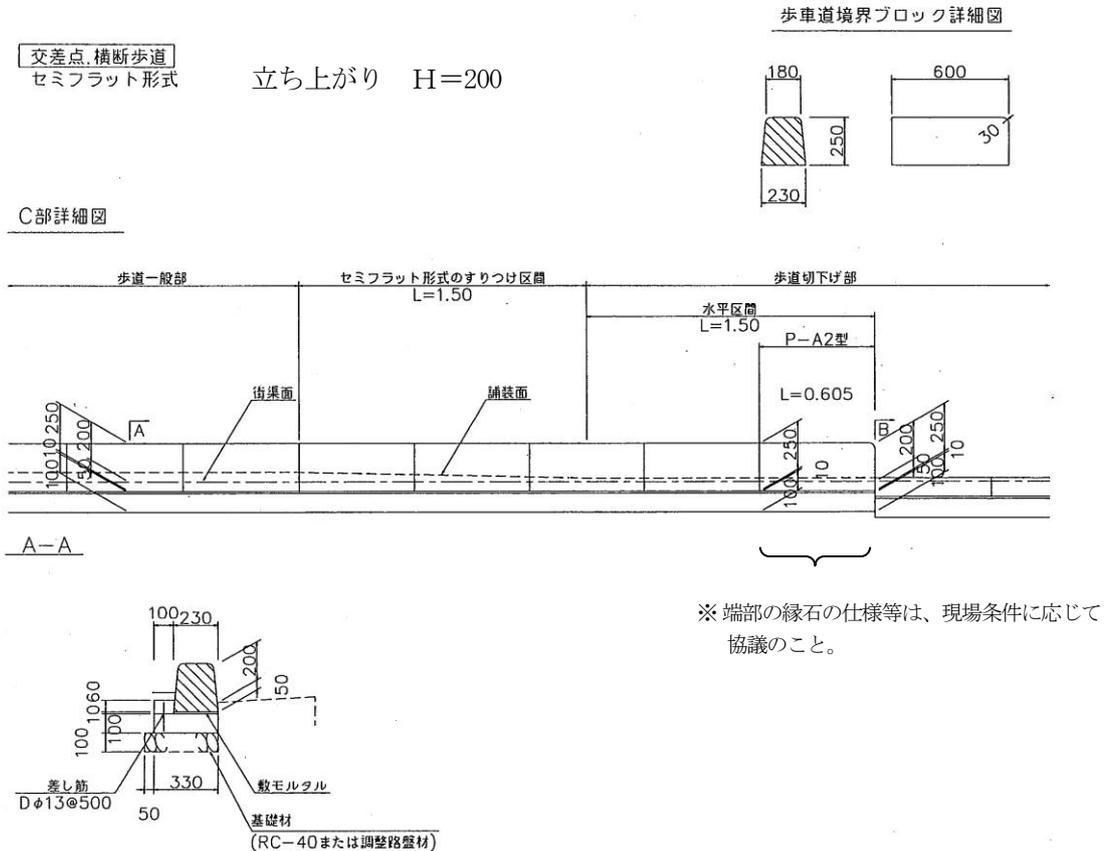


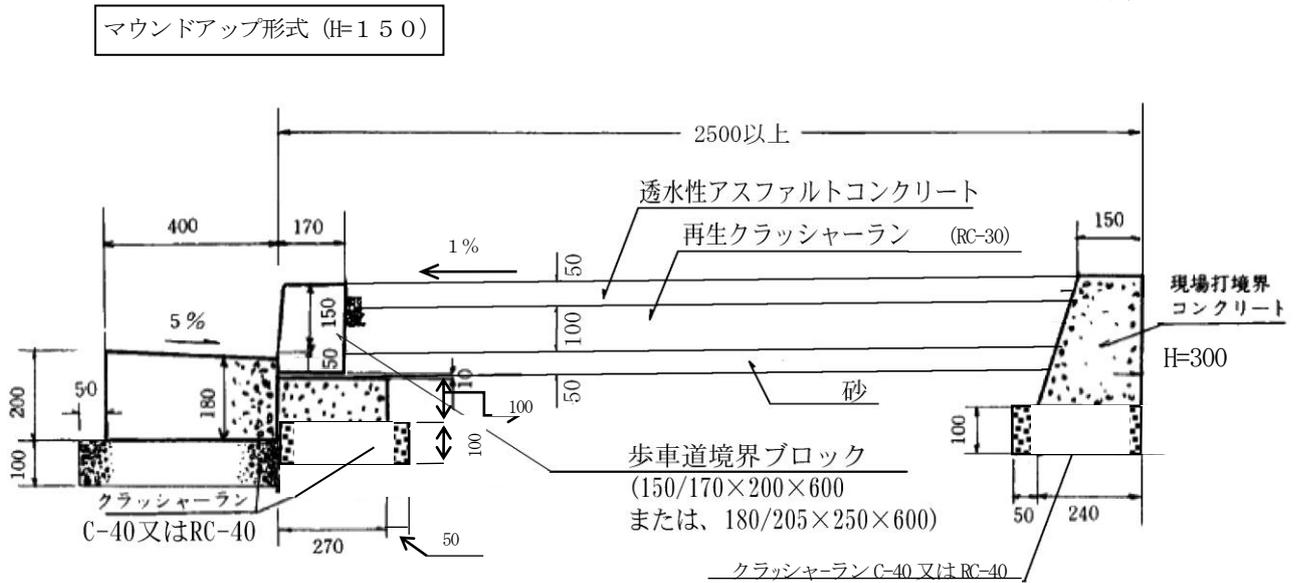
図1-10-4



(5) 歩道の設置基準

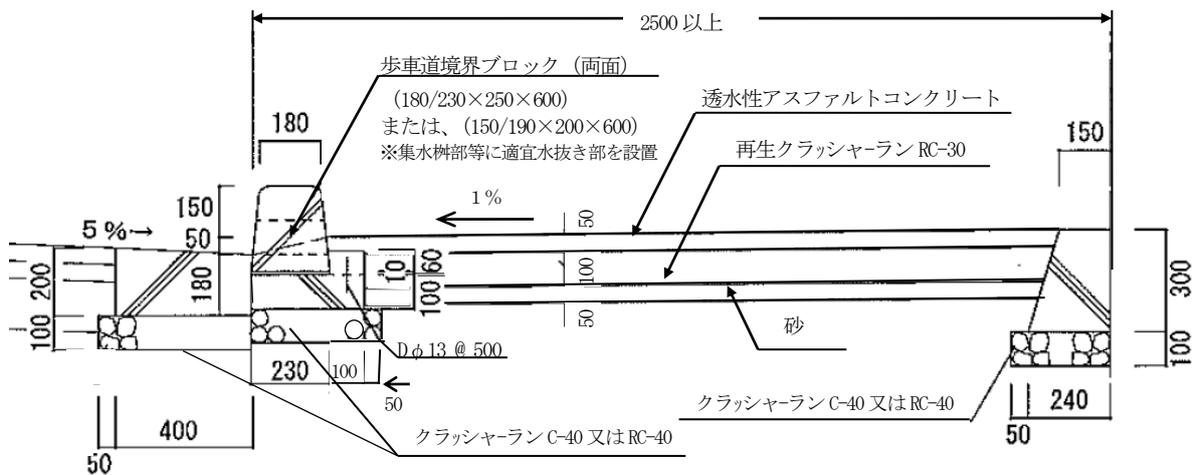
ア. 歩道の構造 (一例)

図1-11-1
(単位 mm)



セミフラット形式 (H=200)

図1-11-2



イ. 歩道の幅員

表1-3

道路幅員	歩道幅員	車道幅員	備考
8.5m	2.5m×1	6.0m	状況により防護柵を設置することがある。
11.0m	2.5m×2	6.0m	

(注) 11メートルを超える部分については、関係各課（土木監理課、地域整備事務所）と植樹柵等について別途協議する。